

2 アテ漏脂病被害対策事業（第1報）

予算区分：国 補

研究期間：平成 14～16 年度

担当科名：育種科

担当者名：矢田 豊

．目的

平成 11 年、穴水町アテ人工林において約 30 年生のアテが集団枯死する被害が発見された。この枯死被害に関係が深いと考えられる漏脂病と、枯死被害の発生条件等を究明し、被害防止策を検討し適切な施策実施への判断材料を提供することを目的として、本事業を実施する。

．試験結果

漏脂病に罹病し木部圧ポテンシャルが低下した衰弱木から、特定の病原菌等は検出されなかった。新たな枯死被害は引き続き発生しているが、一般的な伝染性病害に見られるような著しい被害拡大は認められなかった。

間伐が漏脂病被害におよぼす影響を見るために、計 3ヶ所の試験区を設定し、今後継続して枯死被害の推移を調査する。

また、七尾森林部と共同で、エソアテ林分の漏脂病発生状況を調査した。今回調査した 10 林分（林分平均胸高直径 17～29cm）においては、患部は高さ 10m 前後に多く、2 番玉までの採材で問題になる個体は多くなかった。

被害推移を予測するために、平成 3 年に調査された漏脂病被害実態調査林分の現況調査を開始した。今年度は全 115 林分中 53 林分の概況把握を終えた。これまでの調査の範囲では、ほぼすべての林分で被害は減少傾向にあった。また、患部部位の幹直径分布をもとに被害推移を予測するモデルを構築した。

．協力機関

三重大学、森林総合研究所、東京農業大学他

．今年度成果発表状況

- 1) 樹幹温度測定による樹木健全度評価手法の検討 ミズナラ・ヒノキアスナロ・スギの測定事例の比較 第 7 回樹木医学会大会（口頭発表）, 2002.11
- 2) アテ漏脂病 いままでにわかったこと, 石川の林業 574, 2003.3
- 3) エソアテの漏脂病被害について 石川県七尾市江曾地区 中部森林研究 51, 2003.3
- 4) エソアテの漏脂病被害について（ ） - 患部の高さ - 第 114 回日本林学会大会（ポスター発表）, 2003.3
- 5) 材質劣化病虫害の被害推移モデル - アテ（ヒノキアスナロ）漏脂病を主な対象として - , 第 114 回日本林学会大会（ポスター発表）, 2003.3